

平成 1 4 年度
文学教育情報技術活用研究集会
『文学教育危機の時代を考える
～ 日本古典文学を中心として～』

参加対象

国公立大学・短期大学の教職員で、日本文学・日本語学に関する教育に携わっている方。

参加費

1 名 2 , 0 0 0 円 (加盟校以外の方は 3 , 0 0 0 円)

定員 1 0 0 名

参加を希望される場合は、別紙参加申込用紙に記入の上、FAX にて送信ください。締切は平成 1 5 年 1 月 2 0 日(月)までとさせていただきます。

参加費につきましては、当日受付にてお支払いください。

参加者数が 2 0 名未満の場合には開催を中止とさせていただきますので予めご了承ください。

日 時: 平成 1 5 年 1 月 2 5 日(土)

会 場: 早稲田大学西早稲田キャンパス
(6号館2階201教室)

《主催》

社団法人私立大学情報教育協会
文学情報教育研究委員会

『文学教育危機の時代を考える～日本古典文学を中心として～』

日時：平成15年1月25日（土）13:30～17:00

会場：早稲田大学西早稲田キャンパス6号館2階201教室

開催趣旨

1980年代以後、PCの普及に伴い、従来の紙媒体を離れたデジタルコンテンツがメディアの中で重要性を増して来た。それとほぼ時期を同じくして、文芸全般に対する世上の評価に変化が生じ、一方では大学再編の嵐の中で、極端な場合には日本文学科の解体などの形で、日本文学研究を支える地盤が、崩壊しつつあるのが現今の情勢である。

こうした傾向は教育の現場においても同様である。今や文学のあり方自体が大きく変わろうとしているが、それでは「文学教育」とは、何を教えるためのものなのか、ということ、今ここでもう一度振り返らねばなるまい。そして21世紀を迎えて情報化社会に直面した現在、われわれはこうした環境の中で、どのように「文学教育の情報化」をはかっていくべきなのであろうか。

日本文学・日本語学の、とりわけ古典教育の局面において、従来型の講読もしくは演習に代わる、新しい授業手法を開発していくことの必要性は、今さらのべるまでもあるまい。しかし「新しい手法」の具体像が未だに明確でなく、それぞれの教員が個別に対応しているのが現状である。

しかし、こうした状況の中で、ネットワークの教育現場への応用、教育素材のデジタルコンテンツ化とその利用促進、密室での授業からオープン化された教室への脱皮、教育プログラムの開発、などへの取り組みが始まっていることは、今後の文学教育の改善にも大きく寄与すると考えられる。

そこで、このたびの研究集会では、の実例として、文部科学省国文学研究資料館の中村康夫教授をお迎えし、講演とシンポジウムを行う。またこれにあわせて、本委員会の委員による、情報化教育の体験をふまえた、いくつかの事例報告を行いたい。今回の研究集会を通じ、授業の質を向上させ、社会の要請に応えうるために、われわれがなし得ることは何かを共に考えたい。

プログラム

12:30 施設見学（早稲田大学中央図書館・演劇博物館）

案内 竹本 幹夫 氏(早稲田大学文学部 教授 文学情報教育研究委員会委員長)

14:10 委員会報告『ITを活用した文学教育の実例』

1．早稲田大学におけるIT技術を応用した文学関係の授業

報告者 竹本 幹夫 氏(早稲田大学文学部 教授)

現在、文学関係の授業で実際に用いているデジタル教材のいくつかを紹介しつつ、文学・文芸関係の授業におけるIT化の問題点について論じる。

2．Webサイトを活用した日本文学基礎演習「変体仮名・古筆」

報告者 浜口 俊裕 氏(大東文化大学文学部 助教授)

学生参加型の、「わかる」授業を心がけて、コンピュータやホームページを活用しながら、「変体仮名・古筆」に関する基礎的な知識を習得し、日本古典文学作品の原点に対する関心を培うことを目的とした授業事例を報告する。

3．日本語語彙分析へのマルチメディアの活用

報告者 平澤 洋一 氏(城西大学女子短期大学部現代文化学科 教授)

メディア教材の画像や映像を見ながら辞書にない「意味」を見つけ、「見える文化」や「見えない文化」の意味関係と体系を発見し、メディア演習を通して日本文化の認知差とその原因に気づかせる授業事例を報告する。

15:10 特別講演『私の電子図書館 - 教育と研究の観点から - 』

講演者 中村 康夫 氏(文部科学省国文学研究資料館 教授)

インターネット上を初めとして、有用な情報資源が様々に提供されている。これらを実際に役立てるためには、単に収集するだけでなく、簡単な手法でDB化できると実が挙がる。その具体例についてお話したい。

16:00 休憩

16:15 全体討議「ITを活用した教育プログラムの可能性」

司会 佐伯 眞一 氏(青山学院大学文学部 教授)

パネラー 中村 康夫 氏 竹本 幹夫 氏 浜口 俊裕 氏 平澤 洋一 氏

上記の報告、講演、に基づき、文学教育方法の現状における問題点、現状打開の試みとしての、ITを活用した文学教育方法の可能性とともに、その課題、限界について考えていきたい。また、課題克服に向けた教材の共有化などに対する委員会の取り組みについても併せて紹介することになっている。

17:00 閉会

【問い合わせ先】

社団法人 私立大学情報教育協会
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-14 No.1 山崎ビル 4 階
TEL: 03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp

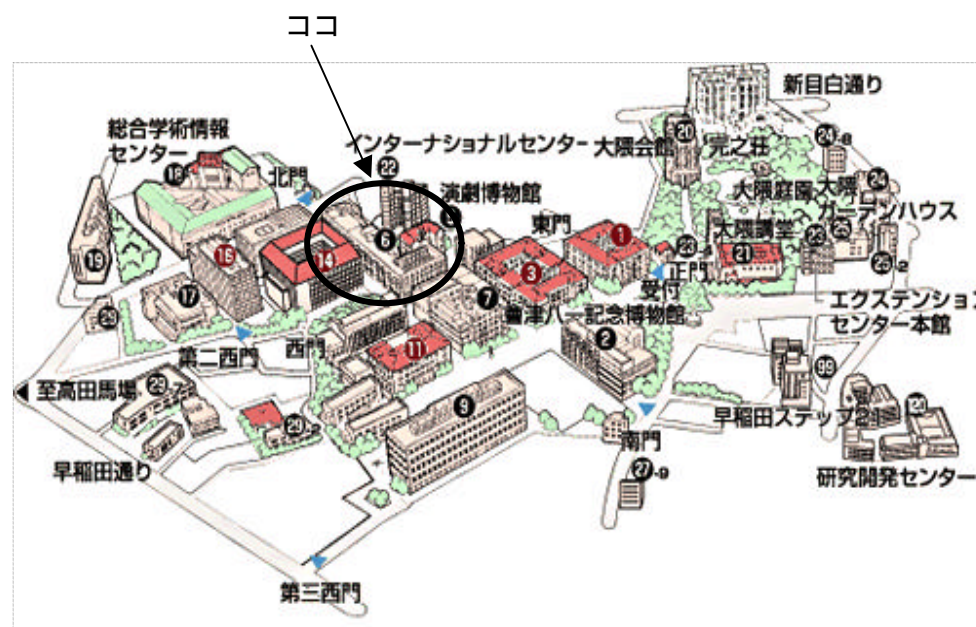
早稲田大学へのご案内

会場：早稲田大学
西早稲田キャンパス 6号館 2階 201教室

住所：〒169-8050 東京都新宿区西早稲田 1 - 6 - 1

主な交通機関

- | | |
|----------|---------------------|
| J R 山手線 | (高田馬場駅 徒歩 20 分) |
| 西武新宿線 | (高田馬場駅 徒歩 20 分) |
| 地下鉄東西線 | (早稲田駅 徒歩 5 分) |
| 都バス(学バス) | (高田馬場駅 - 早大正門) |
| 都電荒川線 | (三ノ輪橋 - 早稲田 徒歩 5 分) |



上記と同じキャンパスマップは早稲田大学ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.waseda.ac.jp/koho/guide/univ18.html>